

○ 基本事項

- (基本理念) ・ 輸送の安全・安定を最優先に確保
 ・ 地域に密着した「県民鉄道」へと一新し、生活や交流の基点となるサービスを提供
 ・ 行政や企業、住民の協力のもと、長期に渡って安定した経営を維持
- (経営形態等) ・ 経営主体 … 県・市町・民間からの出資による第三セクター会社
 ・ 地域鉄道との連携 … 福井鉄道、えちぜん鉄道との事業連携により効率化と利便性向上

経営計画（検討項目）とは

- 平成30年8月に決定した基本方針に基づく検討項目について、現時点で取りまとめたもの。
- 今後、各項目をより具体化し、令和3年1月頃に最終案を決定後、三セク会社に引継ぐ。

○ 主要事項

① 運行計画 通勤・通学時間帯の利便性向上策などを立案	② 利用促進策 地域が一体となって鉄道利用を促す環境づくり	③ その他の検討項目 効率的な組織・施設、経営の安定化など																
<p>○増便・快速列車の運行</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗車率が高い区間の朝、夕を中心に増便 快速列車（増便扱い）の運行 <p>○利便性の高いダイヤ</p> <ul style="list-style-type: none"> 可能な限りパターン化（毎時〇分に発着）し、わかりやすいダイヤ編成 新幹線やJR特急など他社線との接続利便性の確保 大規模集客イベント時における臨時便の運行 <p>○石川県区間との相互乗入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> 福井・石川県境を跨ぐ乗客の利便性を確保 <p>○観光・イベント列車の運行</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿線市町で催されるイベントと連携した列車の運行 定期外利用者の確保を目的とした観光列車の運行 	<p>○既存駅のモデルチェンジ・駅周辺用地の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 親しまれる駅、行ってみたい駅に改善 <p>モデルチェンジの例 あいの風とやま鉄道：泊駅</p> <div data-bbox="1092 871 1840 1176"> <p>改修前 売店が撤退後、スペースが活用されず</p> <p>改修後 駅舎空きスペースに人気スイーツ店を誘致</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> パーク＆ライド駐車場の拡充や駐輪場の移設・新設 <p>○新駅の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> 三セク会社の増収に資するものであることを前提に、沿線市町と十分な意思疎通を図りながら検討 <p>○駅・駅周辺のにぎわいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅舎内、駅周辺での各種イベントや市場等の開催 <p>○地域交通との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> JR各線、福鉄、えち鉄、バス会社とも連携し共通フリー券など企画切符の発行や鉄道イベントの共同開催 <p>○インバウンドへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 訪日外国人にとって利用しやすいサービスを提供 <p>○マイレール意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> 会社名称を広く公募により決定 サポーターズクラブの設立 	<p>○組織・要員計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 運営組織のスリム化 ・ 人的支援をJRに要請 <p>○施設・車両計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 譲渡前の修繕・改良をJRに要請 車両は現在の営業車両の耐用年数等を確認のうえ、譲渡についてJRと調整 <p>○収支見込み、経営安定化策</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に再度実施する旅客流動・需要予測調査の結果を基に収支を見直し 先行事例も参考に運賃水準を設定し、経営安定基金（仮称）の規模を決定 拠出者は県・市町のほか、企業からの寄付やふるさと納税による支援も検討 旅行業、広告業、不動産業など関連事業の展開 																
<p>○ 開業に向けたスケジュール</p> <table border="1"> <tr> <td>令和2年2月</td> <td>経営計画（検討項目）公表</td> </tr> <tr> <td>令和2年5月～</td> <td>旅客流動および需要予測調査</td> </tr> <tr> <td>令和2年12月頃</td> <td>収支見通し公表</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月頃</td> <td>並行在来線対策協議会</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 出資および基金に係る関係者間の負担合意</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 経営計画（最終）を決定し、三セク会社へ引継ぎ</td> </tr> <tr> <td>令和3年夏頃</td> <td>三セク会社増資、本格会社へ移行</td> </tr> <tr> <td>令和5年春頃</td> <td>並行在来線開業</td> </tr> </table>			令和2年2月	経営計画（検討項目）公表	令和2年5月～	旅客流動および需要予測調査	令和2年12月頃	収支見通し公表	令和3年1月頃	並行在来線対策協議会		・ 出資および基金に係る関係者間の負担合意		・ 経営計画（最終）を決定し、三セク会社へ引継ぎ	令和3年夏頃	三セク会社増資、本格会社へ移行	令和5年春頃	並行在来線開業
令和2年2月	経営計画（検討項目）公表																	
令和2年5月～	旅客流動および需要予測調査																	
令和2年12月頃	収支見通し公表																	
令和3年1月頃	並行在来線対策協議会																	
	・ 出資および基金に係る関係者間の負担合意																	
	・ 経営計画（最終）を決定し、三セク会社へ引継ぎ																	
令和3年夏頃	三セク会社増資、本格会社へ移行																	
令和5年春頃	並行在来線開業																	
<p>○ 相互乗入れの概要</p> <p>石川県 乗車人数：約19,000人/日 定期：約14,000人/日 定期外：約5,000人/日</p> <p>○輸送密度 約5,100人/日・km</p> <p>福井県 乗車人数：約19,000人/日 定期：約14,000人/日 定期外：約5,000人/日</p> <p>○輸送密度 約5,100人/日・km</p> <p>並行在来線（福井県） JR線 福井鉄道、えちぜん鉄道 並行在来線（石川県）</p>																		